

古典・古筆が伝える書“公募”第48回全書芸展の開催

全日本書芸文化院（所在地：東京都千代田区、代表：大倉谷山）は、2019年12月12日（木）～23日（月）に東京・国立新美術館にて『第48回全書芸展』を開催します（文化庁・東京都後援）。本展覧会では、天井5mの空間に半切（35×135cm）から最大6×10尺（1.8×3.0m）の古典・古筆の臨書及び創作の書作品約1,400点を展示します。展示は、全国からの応募による公募部門と本院師範位以上の無鑑査部門、そして役員等による展覧会委員部門の3部門になります。

公募部門の優秀者には、文部科学大臣賞・東京都知事賞・令和記念賞などが授与されます。

なお、会場内では委嘱役員による小品24点、また明治時代以降、日本の書道界を牽引してきた近世大家の貴重な作品8点も展示いたします。

1 全書芸展開催の経緯

全書芸展は、本院が提唱する「純正書道」の成果を世に問う展覧会として、昭和48年（1973）に始まりました。出品者は社中の偏重がなく、審査は厳正・公平に投票制で実施。審査員は、日展・毎日・読売・産経・日書美などの多くの関係者と外部審査員で執り行っております。

今回展は、改元奉祝として「令和記念賞」を設置いたしました。

2 全書芸展の出品概要

出品者：高校生以上（15歳から95歳）

部門：公募Ⅰ部 3×6尺まで

公募Ⅱ部 半切まで

無鑑査Ⅰ部 2×8尺まで

無鑑査Ⅱ部 半切まで

展覧会委員 卷子・折帖・6×10尺まで

委嘱役員小品

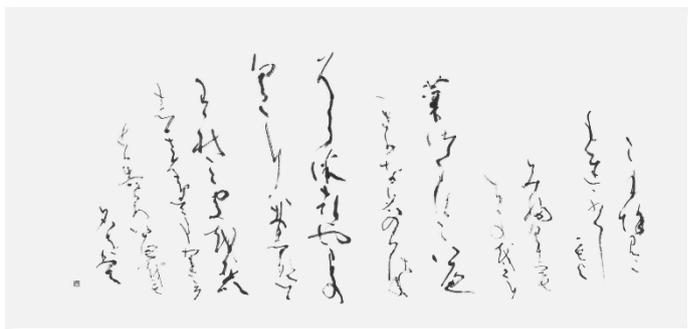
特別展示



全日本書芸文化院 HP

<https://www.z-shogei.co.jp/>

3 主な出品作品（役員）



梶崎華祥「菜摘ます児」 3×6尺



堀天鶴「鑑」

6×10尺



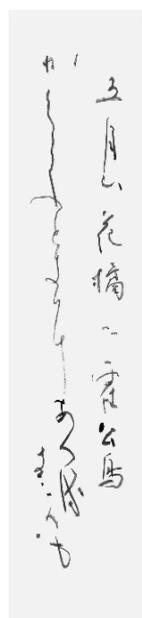
梶田越舟「徳必有隣」

2×8尺



大倉谷山「煙外有鐘聲」

3×10尺



一松美代「万葉集」

半切



目良丹崖「飛揚跋扈」

6×6尺



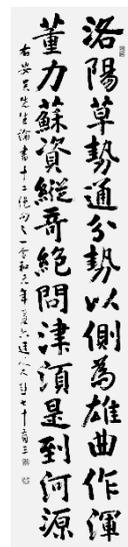
増子総洋「終身之計莫如樹人」

6×10尺



吉田青風「連城寶」

6×6尺



服部大超「安貞論書七絶一首」

2×8尺

4 開催概要

展覧会名：“公募”第48回全書芸展

*併設 第69回全国書道コンクール

半紙・硬筆作品：文部科学大臣賞・東京都知事賞 設置 ▶

会 期：2019年12月12日（木）－23日（月）

会 場：国立新美術館 2階展示室 2B・2C・2D

〒106-0032 東京都港区六本木7-22-2 TEL：03-6812-9921（会期中）

開場時間：午前10時－午後6時（入館は午後5時30分）

*12月17日（火）休館／最終日は午後2時閉会（入館は午後1時30分）

入場料：無料

交 通：東京メトロ乃木坂駅（美術館直結）・六本木駅／都営地下鉄大江戸線・六本木駅



令和記念大賞（中学生）

5 作品解説

開催日：2019年12月12日（木） 11時－漢字／14時－漢字

2019年12月14日（土） 11時－かな／14時－漢字

2019年12月21日（土） 11時－かな／14時－漢字

2019年12月22日（日） 11時－漢字／14時－かな

内 容：[公募]文部科学大臣賞・東京都知事賞・全書芸賞・推選および

[無鑑査]文化院大賞・準文化院賞の受賞作品を中心に本院役員が解説いたします。

6 併設ワークショップ 『楽しく古代文字を書いてみよう！』

開催日：2019年12月14日（土）・21日（土）・22日（日）12時～14時

場 所：国立新美術館2階 全書芸展会場

参加費：無料（定員：各回8名）

受 付：当日、全書芸展入り口受付にて（先着順・30分毎に入替制）

7 全日本書芸文化院について

昭和25年（1950）創立。月刊競書雑誌『書宗』創刊。昭和47年（1972）、現在の『全書芸』に改題。初代会長は桑原 翠邦（元東宮御所 書道御進講）。古典・古筆に立脚した「純正書道」を標榜し、全国に500支部・15,000人の購読者様にご購読いただいているロングセラー月刊競書雑誌（一般・学生・ペン字）となっています。2月には全国書初大会、12月に全国書道コンクール・全書芸展等の書道イベントを開催し、今後も更なる書道文化の振興に努めてまいります。

8 お問い合わせ先

全日本書芸文化院 広報担当：岩本

TEL：03-3294-3551 E-mail：info@z-shogei.co.jp